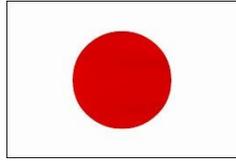




ナミビア通信

～のんびり(Nombili)～



青年海外協力隊
岩塚善哉
7th. Jan. 2019 No.5

あけましておめでとうございます。2019年とはどんな年にしたいですか。小さな目標でも何か掲げてみる
といいですね。私は2019年を一年間ナミビアで過ごすこととなります。ここでの出会いや貴重な生活を大
切にして活動に取り組んでいきたいと思っています。

新学期について(Back to school)

日本では3学期が始まりましたね。ナミビアは三
学期制は日本と同じですが、1月が新年度となるた
め、1学年上の学年になります。(留年制度があるた
めすべての生徒が進級できるとは限りません。)

すべての学校ではありませんが、キリスト教徒が
ほとんどであるため、多くの学校では、全校生徒が教
会へ行き、聖歌を歌い
お祈りを捧げます。



[教会での一場面]

教会から学校へ戻る
と教室の場所を確認し
たり、教科書を受け取
ったりしていました。

ナミビアでの年越し(New year in Namibia)

首都のWindhoekで年越し
をしました。現地の歌手がラ
イブをしており、カウントダ
ウンに合わせて、盛大な花火
が打ち上げられました。季節
が反対で、日本とは異なる年
越しだったからか、新年とい
う実感があまりわきませんで
した。日本では、除夜の鐘を
聞き、初詣やお節料理を食べ、
お正月を祝いますが、こうした日本の文化や行事を
大切にしたい気持ちが生まれ、海外にいるからこそ
感じるものがありました。



[年明けの花火]

ウェルウィッチアを見に行きました。(I observed a Welwitschia)

ウェルウィッチア(Welwitschia)とは、この大きな植物のことです。日本名で
は、「^{きそうてんがい}奇想天外」という名前が付いています。この右のウェルウィッチアは、約500
年生きているとのこと。一見何枚もの葉があるように見えますが、実は、2枚
の葉でできています。帯状の葉で、風などの外的要因によって擦り切れて裂け始め、
このような形になります。長いものでは、2000年近く生きている個体もあり、生き
た化石と言われています。ナミブ砂漠という砂漠に植生しており、ナミビアの国花



[500歳のウェルウィッチア]



ウェルウィッチア
の植生分布

であり、長く繁栄するように願いがこめられ、国章
にも使われています。また、ナミビアのラグビーチ
ームの愛称が「ウェルウィッチアス」という名前です。
今年の9月に日本で開催されるラグビーワールドカ
ップの出場権を獲得しています。愛知県でもナミビアの
チームが試合を行う予定です。「ウェルウィッチアス」
をぜひ応援してください。



国章のウェルウィッチア



[ウェルウィッチアの周りは何もない]



[ウェルウィッチアス]



番外編

「こんなところで宿泊しました」
満点の星空でした。